

議案第86号

墨田区児童館条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和5年2月2日

提出者 墨田区長 山 本 亨

墨田区児童館条例の一部を改正する条例

墨田区児童館条例（昭和46年墨田区条例第20号）の一部を次のように改正する。

第3条第4号中「前3号」を「前各号」に改め、同号を同条第5号とし、同条第3号の次に次の1号を加える。

(4) 児童に関する情報共有及び情報交換に関すること。

第3条に次の1項を加える。

2 前項の事業のほか、八広児童館については、次条第2項に規定する施設の利用に関する事業を行うものとする。

第4条に次の1項を加える。

2 前項の施設のほか、八広児童館には、子育て支援に資する地域活動を実施するため、調理室、会議室及び和室（以下「地域活動施設」という。）を設ける。

第5条を削り、第6条を第5条とする。

第7条及び第8条を削る。

第5条の次に次の3条を加える。

（利用者の範囲）

第6条 児童館を利用することができる者は、次のとおりとする。

(1) 児童及びその保護者

(2) 前号に掲げるもののほか、区長が特に必要と認めるもの

2 前項の規定にかかわらず、地域活動施設を利用することができる者は、規則で定める。

（利用の手続）

第7条 地域活動施設を利用しようとする者は、区長が別に定める場合を除き、規則で定めるところにより、あらかじめ指定管理者（第15条第1項の規定により業務を行わせる者をいう。以下同じ。）に申請し、その承認を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項に規定する利用の承認に際し、管理上必要な条件を付することができる。

（利用の不承認）

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、地域活動施設の利用を承認しないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 営利を目的とするとき。
- (3) 地域活動施設、付帯設備又は物品を毀損するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、八広児童館の管理上支障があるとき。

第15条を第24条とし、第14条を第23条とする。

第13条の見出しを「（指定管理者の損害賠償義務）」に改め、同条中「児童館の施設、設備又は物品」を「施設等」に改め、同条を第22条とする。

第12条の見出しを「（指定管理者の原状回復義務）」に改め、同条中「児童館の施設、設備又は物品」を「施設等」に改め、同条を第21条とする。

第11条を第20条とし、第10条を第19条とし、第9条を第16条とし、同条の次に次の2条を加える。

（指定管理者の指定の取消し等）

第17条 区長は、指定管理者が次の各号のいずれかに該当するとき、前条第3項の規定による指定を取り消し、又は期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

- (1) 管理の業務又は経理の状況に関する区長の指示に従わないとき。
- (2) 前条第3項各号に掲げる基準を満たさなくなると認めるとき。
- (3) 次条各号に掲げる管理の基準を遵守しないとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるとき。

(管理の基準)

第18条 指定管理者は、次に掲げる基準により、児童館の管理の業務を行わなければならない。

- (1) この条例、この条例に基づく規則等の規定を遵守し、適正な管理運営を行うこと。
- (2) 利用者に対して適正なサービスの提供を行うこと。
- (3) 施設等の維持管理を適切に行うこと。

第8条の次に次の7条を加える。

(利用料金)

第9条 地域活動施設の利用料金は、無料とする。

(利用権の譲渡等の禁止)

第10条 地域活動施設の利用の承認を受けた者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別の設備等)

第11条 児童館の施設、付帯設備及び物品（以下「施設等」という。）を利用する者（以下「利用者」という。）は、施設等に特別の設備をし、若しくは変更を加え、又は付帯設備以外のものを利用しようとするときは、あらかじめ指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用の承認の取消し等)

第12条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、地域活動施設の利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 利用の目的又は利用の承認の条件に違反したとき。
- (2) この条例、この条例に基づく規則又は指定管理者の指示に違反したとき。
- (3) 災害その他の事故により、施設等を利用することができなくなったとき。
- (4) 不正又は偽りの行為により利用の承認を受けたとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が特に必要があると認めるとき。

(利用者の原状回復義務)

第13条 利用者は、施設等の利用を終了したとき、又は前条の規定により地域活動

施設の利用の承認を取り消され、若しくは利用を停止されたときは、直ちに施設等を原状に回復しなければならない。

(利用者の損害賠償義務)

第14条 利用者は、利用に際し、施設等に損害を与えたときは、区長が相当と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、区長がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(指定管理者による管理)

第15条 区長は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて区長が指定するものに、児童館の業務のうち次に掲げるものを行わせることができる。

- (1) 事業の運営に関すること。
- (2) 施設等の維持管理（軽微な修繕工事を含む。）に関すること。
- (3) 児童館の施設の環境整備に関すること。
- (4) 施設等の利用に関すること。

2 前項に定めるもののほか、区長は、必要と認める業務又は事務を指定管理者に行わせることができる。

別表八広児童館の項中「東京都墨田区八広二丁目38番14号」を「東京都墨田区東墨田一丁目2番6号」に改める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、令和6年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 この条例の施行の日以後の指定管理者による管理に関し必要な手続、準備行為等は、同日前においても、この条例による改正後の墨田区児童館条例の規定の例により行うことができる。

(墨田区学童クラブ条例の一部改正)

3 墨田区学童クラブ条例（平成11年墨田区条例第28号）の一部を次のように改

正する。

別表八広児童館学童クラブの項中「東京都墨田区八広二丁目38番14号」を「東京都墨田区東墨田一丁目2番6号」に改める。

(提案理由)

児童館の利用者同士の交流を促し、地域子育て支援の拠点としての機能強化を図るため、児童館における事業を追加するほか、八広児童館の位置を改めるとともに、所要の規定整備をする必要がある。